

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
井坪 賢児

上伊那支部情報

平成 30 年
8 月 21 日
第 11 号
職場掲示

支部ホームページ <http://www.kamiina.jp/sub-domain/ntuhp/wordpress>
組合員用 パスワード : ntu2453

震災から7年 被災地の復興を願う ～南三陸町立 旧戸倉中学校訪問～



南三陸町防災対策庁舎献花台



最期まで避難を呼びかけ続けた防災庁舎の今



津波の時の様子を伺う



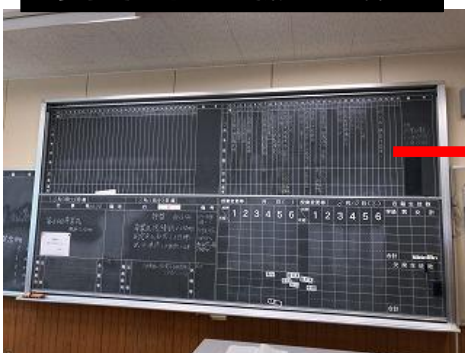
上伊那で集まった義援金を贈呈



津波に襲われた体育館ロビー



壁も天井も柱も無残に(体育館ロビー)



22.6 メートル

高台に位置する旧戸倉
中学校 1 階の職員室。
ここまで水に浸かりま
した。



8 月 4 日 (土) に、東日本大震災で被災した南三陸町立旧戸倉中学校を訪問してきました。上伊那支部では、平成 24 年度に宮城県教組を通じ、戸倉中学校で行ったボランティア活動をきっかけに、今まで長年にわたり支援活動を続けてきています。現地では、当時戸倉中学校の校長先生でいらっしゃった小野寺由美子先生より震災時のお話を聞くことができました。お話の最後には、「生きていることに価値がある」とおっしゃられ、命の危機を目の当たりにされたからこそ伝えられる言葉を教えていただきました。

また、5 月に行われた上伊那支部定期大会の際に、みなさんからお寄せいただいた義援金を南三陸町教育委員会へお渡ししてきました。みなさんご協力ありがとうございました。

上伊那支部では、これからも南三陸町とのつながりを大切に、一刻も早い復興を願って今後も支援活動を継続していきたいと思ひます。

行動してこそ平和は守られる

～第36回 反核・反戦・平和のつどい～



保科執行委員長あいさつ



実践発表 松本先生(箕輪中部小)



実践発表 倉田先生(赤穂東小)



実践発表 湯澤先生(南箕輪中)



講演 寺沢秀文さん(満蒙開拓平和記念館 館長)



小山先生のギターによる「わがい」斉唱



アピール文朗読 小林青年部副部長



平和へのメッセージ

8月6日(月)に上伊那教育会館講堂にて、「第36回 反核・反戦・平和のつどい」が開催されました。終戦から73回目の夏を迎える今年は、講師に寺沢秀文さん(満蒙開拓平和記念館館長)をお迎えし「満蒙開拓団の歴史～その史実から学ぶもの～」と題してご講演をいただきました。ご自身のご両親の経験から、戦争の悲惨さを伝えていただきました。目の前にいる子どもたちに、戦争の悲惨さ、事実を確実に伝えていかなければいけないという気持ちを持たせていただき、戦争のない世界を願い、行動していくことが私たちの大きな責務であると強く感じました。

【参会者の感想から】

- 「知っている者の責任として次の世代へ伝えていく」。教職にたずさわる者として、その責任の重さを痛感しました。伝えるためには、まず自分が知る努力をし、教材研究をしていきたいです。
- 講演の中で「日本人は信用できない。かつて侵略したからではなくて、今の日本人がかつての歴史を知ろうとしないから」という言葉がずしんと心にきました。私は平和を願っているし、目の前の子ども達ももちろん平和であることを望んでいるのにもかかわらず、学ぼうとしていなかった、伝えようとしていなかった自分に気付かされ反省しました。戦争のない世界平和実現のためには学んだことを伝えていこうと思います。